

右岸ニ取入口ヲ設ケ大部分隧道ニヨル
順位九九〇 左岸ニ水路ヲ設ケ前地點ノ如ク河川屈曲
ヲ利用ス水路ハ多ク隧道トス

以上四地點トモ用水悪水ニ關係ナシ。然レトモ本川ニ
ハ流筏盛ナルヲ以テ水力ノ利用ニ際シテハ之カ處分ニ充
分ナル考慮ヲ費ササルヘカラス。北山西ノ川ニハ縣道ア
ルモ坂路多キノミナラス一般ニ道路ハ水面ヨリ高所ニ位
スルヲ以テ材木ノ運搬ニハ不便ナリ。北山川ハ沿岸一小
徑ヲ通スルノミニシテ完全ナル道路ヲ開鑿スルコト至難
ナルヲ以テ木材ハ總テ水路ヲ通過セシムルヨリ外ニ策ナ
カルヘシ

第三章 日高川水系

一、流域 地形地質 本川流域ハ紀伊國日高郡ノ大部ヲ
占メ東ハ大和ノ國界ヨリ西ハ紀伊水道ニ連リ其ノ流域面
積四三方里ヲ有ス。流域ノ東方ハ紀和國境山脈ニシテ最
高海拔一、二〇〇米ヲ超ユル高峯ヲ以テ熊野川ノ流域ニ對
シ其ノ北方ハ城ヶ森山(一、二六九米)若藪山(一、一五二米)峻
嶺連巒西ニ走リテ白馬山脈ヲ成シ南方ハ笠塔山(一、〇五〇

ル土質ト相俟テ其ノ生育益佳良ナルヲ如シ

氣象狀態 雨量ハ概シテ多ク河口附近ニ於テ一、四〇〇
耗内外ヲ算シ山間部ニ至ルニ從ヒ漸次ニ之ヲ増加スルヲ
常トシ中流部ニテ二、七〇〇耗、上流部ニ於テ三、五〇〇耗内
外ヲ示ス。氣温ハ山間部最冷地ニ於テ平均一四度内外ナリ
二、河川狀態 本川ハ源ヲ城ヶ森山(一、二六九米)ニ發シテ
南ニ向ヒ龍神ニテ左支小又川ヲ容レ西南ニ轉シテ上山路
村ニ入り細原ヨリ正南ニ進ミ東ニ於テ左支丹生川ヲ合セ
中山路村ニ至リテ屈曲甚シク虎ヶ峯ノ北方ヲ西北ニ向ヒ
下山路村ニ入りテ右支寒川ヲ合セ之ヨリ數多ノ屈曲迂廻
ヲナシテ西流シ船着村ヨリ更ニ西南ニ轉シ御坊町ノ南ニ
至リテ海ニ入ル。此ノ流路約三三三三ナリ

日高川流量表

順位	舊順位	河川	測水所	流域面積	流量				流域一方里當流量			
					年次	最大	平水	低水	渇水	最小	最大	平水
二五二	—	日高川	和歌山縣日高郡寒川村 串本上村	二、三三三 (五月ヨリ)	大正八年 一五、五〇〇 大正九年 一七、八〇〇 大正十年 四一、五〇〇 大正十一年 一〇、七〇〇 平均	三、三 三、五 三、八 一、七	二、七 二、五 二、五 一、五	一、六 一、七 一、三 一、六	六、六 八、五 一、八 一、四	一、七 一、三 一、五 一、二	八、〇 七、七 五、六 七、一	七、四 六、三 五、三 五、七

米、虎ヶ峯七九〇米ノ連山ヲ以テ富田川等ノ流域ニ對ス
而シテ河ヲ下ルニ從ヒ南北ノ分水嶺ハ益相迫リテ西ニ傾
斜シ山勢急峻ナリ。斯ノ如ク地勢概ネ急ナルヲ以テ流域
内ハ平地ニ乏シク漸ク河口附近ニ至リテ平濶ナル地域ヲ
見ル。而シテ流域内ノ地質ハ殆ト全部中生層ナリ

地目面積表

河川名	地目		林				合計
	耕地	原野	針葉樹林	闊葉樹林	混交樹林	計	
日高川	〇、六	一、三	二、五	〇、二	一、八	四、五	三、三
面積(方里)	一、九	一、三	二、五	〇、二	一、八	四、五	三、三
面積百分率	一、九	一、三	二、五	〇、二	一、八	四、五	三、三

ニ松樹ヲ交ユル混濬樹林ヲ見ルモ上流部ハ右表ニ示スカ
如ク大部分樹林ニシテ耕地原野等ハ僅ニ流域ノ六ば一セ
んとヲ占ムルニ過キス。森林分布ノ狀態ハ最上流部ハ全
部針濶混濬樹林ニシテ稍下リテハ針葉樹林、針濶混濬樹林
及濶葉樹林等繁生ス而シテ水源部ノ山林ハ殆ト天然林ヨ
リ成リ人工ヲ加ヘタルモノ少ク就中其ノ約二方里ハ國有
林ニシテ他ハ民有林ナリ。是等ノ森林ニ於テハ一般ニ檜
、梅等密生シ其ノ間ニ杉、檜等點在シ下流部ニ於ケル針葉樹
林、針濶混濬樹林ハ多ク人工林ニシテ良質ノ材ヲ有シ肥沃ナ

本川ハ概シテ緩流ニシテ極メテ屈曲多ク河幅廣クシテ
河床概ネ砂礫ヨリ成リ諸處ニ夥シキ寄洲アリ且沿岸山嶽
相迫リ岸高ク山勢急峻ニシテ殆ト平地ヲ有セス。水源ノ
森林狀態良好ナレトモ地質ハ稍脆弱ナルヲ以テ平水時ニ
於テモ河水ノ清澄ヲ見ルコト少ク一度降雨アレハ直ニ濁
流ヲ生シ河床亦常ニ定ラス。洪水位ハ串本附近ニ於テ二
五尺内外ナリ

水力ニ利用シ得ヘキ範圍内ニ於ケル河川勾配左ノ如シ
自湯ノ又 至丹生川合流點 (一、〇、〇九〇間) 三五四分ノ一
自丹生川合流點 至甲斐川 (二、一、九六〇間) 三八三分ノ一

自小屋 至淺間 (九三六〇間) 五二六分ノ一
 自淺間 至高津尾 (一九五一一二間) 四四三分ノ一
 自高津尾 至伊藤川合流點 (一二五〇七間) 四七六分ノ一

本川ノ流量ハ冬季最渴水シ秋季ハ稍低水ニ近ク春季ヨリ初秋ニ亘リテ高水若ハ低水多ク最大洪水期ハ概ネ夏季若ハ秋季ナリ

三水利及治水 灌溉用トシテ本川ノ水ヲ引用スルモノアレトモ水力利用ノ區域外ニ屬スルヲ以テ茲ニ述ヘス
 流木ハ管流後流共ニ行ハレトモ主トシテ夏季ノ出水ヲ避ケ冬季水量ノ激變ナキ期ヲ選ミ龍神村大字小森ニテ筏幅八尺長サ三〇間ニ組ミ御坊町ニ流下スルモノ多ク其

日高川 水力地點表 順位ニ(一)ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路長	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
九九一	日高川	番外一	和歌山縣日高郡龍神村廣井原堀谷	同郡上山路村宮氏大垣内	湯水 六二 低水 一〇二 平水 一四九	一一九	八八八 一四六一 二一三四	二四〇〇	八七一	一〇〇〇	一三九一 一八二二	乙

(九九二)	同	一	和歌山縣日高郡下山路村福井小菅	同郡下山路村甲斐ノ川大瀬	湯水 一一〇 低水 一八一 平水 二六五	六九	一三八六 二〇三〇	二〇〇〇	一五五〇	一〇〇〇	一三一九 一七三三	乙
(九九三)	同	番外二	和歌山縣日高郡下山路村小家菅	同郡寒川村串本上村	湯水 一一九 低水 二二三 平水 三一一	七三	一〇四五 一七二六 二一五二〇	一七〇〇	一八三〇	一〇〇〇	一六四三 二一三九	乙
九九四	同	二	和歌山縣日高郡寒川村串本本村	同郡川上村熊野川「コロ」	湯水 一五七 低水 二五九 平水 三七八	八八	一五三四 二五三〇 三、六九二	二二〇〇	三三〇〇	一〇〇〇	一、五三三 二、四〇九 三、一三五	乙
(九九五)	同	三	和歌山縣日高郡船着村船津碓尾	同郡早蘇村平川「ホウジ」	湯水 二三七 低水 三九一 平水 五七二	三七	九七三 一、六〇六 二、三四九	一、二〇〇	三、三三三	一〇〇〇	九七三 一、五二九 一、九四九	乙

其ノ馬力數二四、七四三ヲ算ス

水力地點ノ説明

順位九九一 左岸ニ取入レ隧道約一、二七〇間、開渠約一、二三〇ヲ開鑿ス

順位九九二 左岸ニ取入レ隧道延長約七〇〇間、開渠延長約一、五〇〇間ヲ開鑿ス(日高川水力電氣株式會社ニ許可)

順位九九三 専ラ河川ノ屈曲ヲ利用スルモノニシテ左岸ニ取入口ヲ設ケ隧道約一、〇三〇間、開渠約七〇〇間トス

(其ノ一部分ハ日高川水力電氣株式會社ニ許可)

ノ年額約二一五、〇〇〇尺ニ達シ概ネ杉檜及雜木ニシテ二間材乃至三間材ナリ。漁業ハ六月ヨリ十一月ノ間ニ於テ鮎ノ産アリ尙船着村大字船津ヨリ下流ニハ少數ノ荷舟流航ス。其ノ他惡水等ノ關係ナシ

本川ニハ許可水力地點多シ即チ日高川水力電氣株式會社ハ上福井ニ於テ既ニ發電所ヲ設置シ福井ヨリ小屋ニ至ル間ニ於テ二箇所ノ水力地點ヲ有シ和歌山水力電氣株式會社ハ上越方及高津尾ニ發電所ヲ設ケ更ニ船津ニ於テ水力工事施行中ノモノヲ有ス

四、水力地點 選定水力地點數五、其ノ平水時ニ於ケル馬力數一二、七二五ニシテ其ノ中三地點ハ本調査期間中水利使用ヲ許可セラレタルヲ以テ將來利用開發シ得ヘキモノハ二地點ニシテ其ノ馬力數五、八二六ナリ。而シテ今之ニ許可水力地點ヲ合算スルトキハ本川ニ於ケル總地點數八

順位九九四 左岸ニ取入レ一部河川ノ屈曲ヲ利用スルモノニシテ隧道約七〇〇間、開渠約一、五一〇間トス

順位九九五 左岸ニ取入口ヲ設ケ大部分開渠ニ依ル(其ノ一部分ハ和歌山水力電氣株式會社ニ許可)

各水力地點トモ用水及惡水ニ關係ナケレトモ流木盛ナルヲ以テ水力ノ利用開發ニ當リテハ之ニ對シ相當ノ方法ヲ講シ木材ノ流下ニ支障ナカラシメ尙魚族ノ遡河ニ對シテ適當ノ水量ヲ放流スル設備ヲ要ス